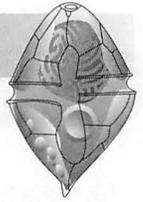


会員のページ

このコーナーでは、会員の皆さんの役に立つ情報の提供をおこないたいと思います。このコーナーに掲載ご希望の方は編集委員長まで。



日本海藻協会(Japan Seaweed Association)発足について

国際海藻シンポジウムの開催母体の国際海藻協会に日本から資金援助をするための組織として、国際海藻協会日本支部が結成されて13年あまりになりました。運営は海藻業界の25社からの年会費でなされ、特別会員として元国際海藻協会評議員の西澤一俊、有賀祐勝両先生と5名の海藻研究者がいろいろと助言をしておりました。日本支部は、最近、日本藻類学会及びマリンバイオテクノロジー学会と共催でシンポジウムなどの国内活動も行なってきましたが、国際海藻協会日本支部という名称のために新会員の増加が芳しくありませんでした。

そこで、日本支部の活動をシンポジウムの開催ばかりでなく、広報活動から海藻業界がかかえる問題と一緒に考えることもできるように、国際海藻協会の名称を「日本海藻協会」と1999年2月に改称し、新しい組織になりました。国際海藻シンポジウムとの関わりもお金を出すだけでなく、「日本賞」のようなものを国際海藻協会に提案し、見える協力をしてゆくことを考えております。また、会誌(ニューズレター)「海藻資源」を年3回発行し、海藻資源や海藻加工品の紹介をはじめ、海藻の応用分野の動向を掲載して行く予定です。会員以外にも会誌購読者を募り、多くのひとに海藻への理解を広める活動をしてゆきます。会長は有賀祐勝東京水産大学名誉教授、事務局長は国際海藻協会評議員の筆者、幹事には東京水産大学能登谷正浩教授、業界からマリンサイエンス(株)代表取締役 岩元勝昭氏、(株)フィラガー・ジャパンの鈴木実氏らが選出され産学協同のユニークな組織となっております。日本藻類学会の会員の皆様の御協力をお願いします。

大野正夫 (高知大学海洋生物教育研究センター)

「有害微細藻類に関するマニュアル等の書籍入手について」

ユネスコ傘下のIOC (Intergovernmental Oceanographic Committee、政府間海洋学委員会)では1992年から有害プランクトン発生増殖対策プログラムを実施しています。これは、世界的に発生頻化・長期化・広域化の傾向を見せている有害赤潮や有毒プランクトンに対し、発生機構の解明など基礎的科学研究の推進、情報交換や技術研修会開催と各種マニュアルの整備による人材育成、及び魚貝類斃死や中毒事件発生防止のための対策を世界中の研究者が政府機関と一緒に考えてい

こうと始まったものであります。このプログラムによる活動の一環として、有害藻類に関する下記の3種の本が発行され、プログラム実行事務局から配布されていますが、わが国では小生がアジア・オセアニア・南太平洋域における配布を任されている関係で、小生のもとに各100部以上の在庫があります。もちろん日本の学生や研究者にも積極的に利用して頂ければ幸いです。

Manual on Harmful Marine Microalgae (1995) IOC Manuals and Guides No.33, UNESCO, 551pp. (有害微細藻類に関する技術マニュアル)

Harmful and Toxic Algal Blooms (1996) IOC of UNESCO, 586pp. (1995年に仙台で行われた有害藻類に関する国際会議の講演集)

Harmful Algae (1998) Xunta Galicia and IOC of UNESCO, 635pp. (1997年にスペインのヴィゴで行われた

有害藻類に関する国際会議の講演集)

本代はユネスコの刊行物なので無料ですが、コペンハーゲンから日本への送料などを賄うため、取扱手数料として1冊当たり3,600円(30US\$)と決めております。また、学生や日本へ研修等で短期間来られている方は半額の1,800円にしております。アジア・オセアニア・南太平洋域の大学等研究機関には、図書室から希望があれば無料で、研究者個人には送料実費をいただいて送っていますので、先生方でこの本を利用してくれる研究者をご存じでしたら、どうかご紹介下さい。注文はFaxあるいはE-mailで福代宛お申し込み下さい。

福代康夫

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学アジア生物資源環境研究センター

Tel: 03-3812-2111 ex.2782 Fax: 03-3818-4597

E-mail: ufukuyo@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp



「日本学術会議だより」のホームページ

「日本学術会議だより」が日本学術会議のホームページ上に掲載されることになりましたのでお知らせいたします。「日本学術会議だより」は春・秋の総会と日本学術会議主催講演会(年2回)を中心に発行されます。ホームページのURLは

<http://www.sci.go.jp>

です。どうぞご利用下さい。